

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車 ショッピングターン 部品交換マニュアル



この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

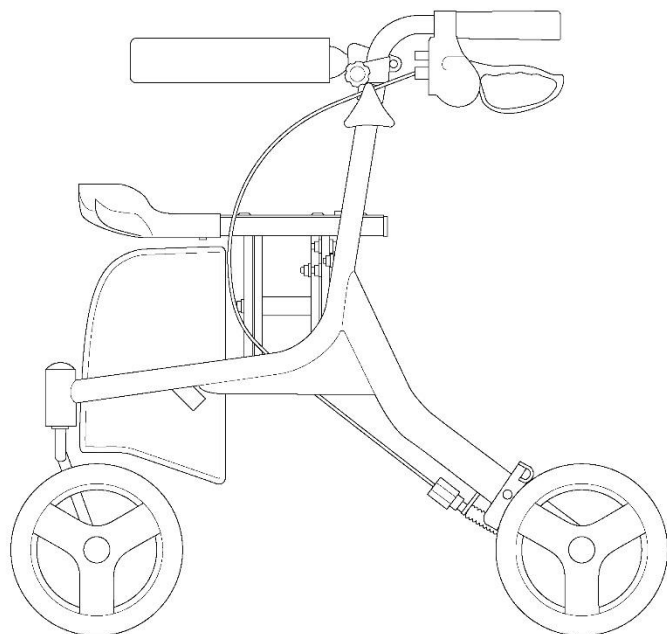
※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

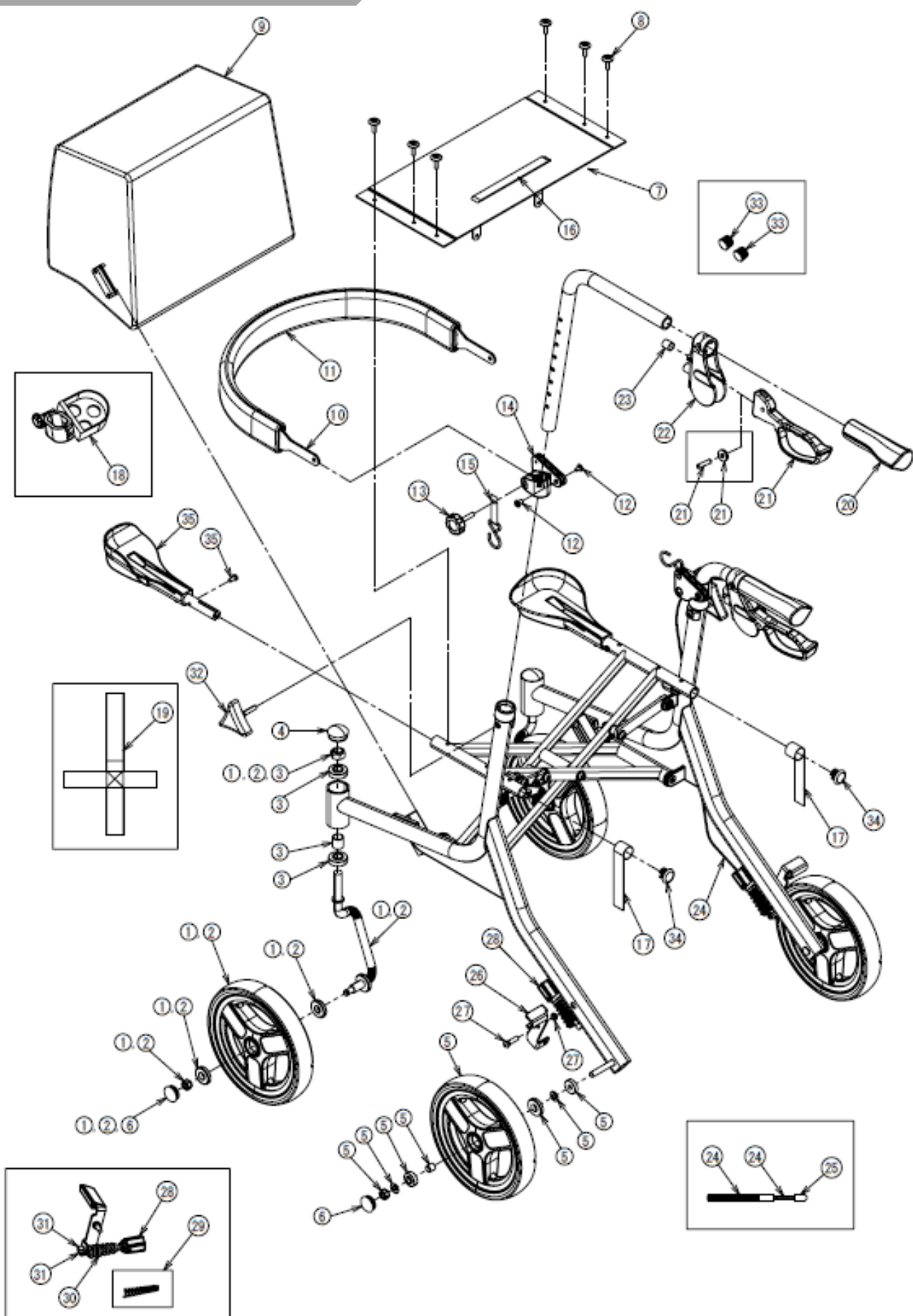
六角レンチ	:	4mm×2本 5mm
ソケットレンチ	:	13mm 17mm
スパナ	:	10mm
プラスドライバー	:	2番
マイナスドライバー	:	
ラジオペンチ	:	

もくじ

部品リスト	1～2
1. 各部の交換方法	3～19
1) バッグの交換方法	3
2) 姿勢保持ベルトの交換方法	3～6
3) 座部の交換方法	7～9
4) バasketホルダーの交換方法	9～10
5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法	10～16
6) 後輪の交換方法	17
7) 前輪の交換方法	18～20
8) 杖ホルダーの交換方法	20
9) 杖固定ベルトの交換方法	20
2. フレームの補修方法	21
3. 交換後の点検	21
4. ブレーキの調整方法	22
5. シールの貼付位置	22
注意事項	23



部品リスト



部品リスト

No.	部品名	部品コード	価格（税抜き）	備考
1	前輪セット（右）	592195	4,100円	
2	前輪セット（左）	592196	4,100円	
3	前輪フォークベアリングセット	592217	2,200円	
4	前輪フォークキャップ	591983	1,700円	★
5	後輪セット	591978	2,900円	★
6	車輪キャップ（前後共通）	591979	1,700円	★
7	座面	592197	5,300円	
8	座面固定ボルト×6	591957	2,100円	★
9	バッグセット	592198	8,300円	
10	姿勢保持ベルト	592199	3,900円	
11	姿勢保持ベルトカバー	592200	2,900円	
12	姿勢保持ベルト固定ボルト	592201	2,000円	
13	姿勢保持ベルト基部固定ノブボルト×2	592202	3,600円	
14	姿勢保持ベルト基部（左右セット）	592203	4,000円	
15	姿勢保持ベルト固定用フック（左右セット）	592204	2,300円	
16	折りたたみベルト	591999	2,800円	★
17	折りたたみ保持ベルト	592206	2,100円	
18	杖ホルダーセット	592207	3,200円	
19	杖固定ベルト	591985	1,700円	★
20	ハンドルグリップ	592208	2,400円	
21	ブレーキレバーセット	591966	2,800円	★
22	ブレーキ基部（左右セット）	591967	4,000円	★
23	ブレーキ基部キャップ×2	591968	2,200円	★
24	ブレーキワイヤーセット	592209	2,300円	
25	ブレーキワイヤー端部キャップ×10	591971	2,100円	★
26	ブレーキ板（左右セット）	592210	2,600円	★
27	ブレーキ板固定ボルトセット	591973	1,700円	★
28	ブレーキ調節ネジ	591974	1,700円	★
29	ブレーキバネ	591975	1,700円	★
30	ブレーキバネカバー	591976	1,700円	★
31	ブレーキ固定ソケットセット	591977	2,100円	★
32	高さ調節ノブボルト	592211	1,800円	
33・34	シートパイプエンドキャップ（前×2、後×2）	591961	1,700円	★
35	バスケットホルダー（左右セット）	592212	5,700円	
36	（LT・ST）フレーム前方保護シール（10枚入り）	592003	2,000円	★※
37	ブレーキ・駐車ロックシール 10枚入り	592000	1,900円	★※
38	ブレーキ指はさみ注意シール 10枚入り	592006	1,900円	★※
39	ブレーキ調節表示シール 10枚入り	592001	1,900円	★※
40	指はさみ注意シール 10枚入り	592002	1,900円	★※
41	補修用スプレー	592216	12,800円	※
42	補修用ペイント（タッチペン）	592218	5,700円	※
43	前輪左右6台分セット	592315	39,100円	※
44	後輪12個セット	592311	26,800円	★※

※「備考」欄に★印がある部品は「歩行車 リトルターン」との共通部品です。「備考」欄に※印がある部品は図示していません。
 ※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

1. 各部の交換方法

1) バッグの交換方法

①折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。

折りたたみベルト



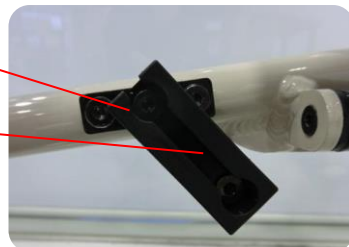
②バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げます。



バッグ固定部

ガイド

スライド部

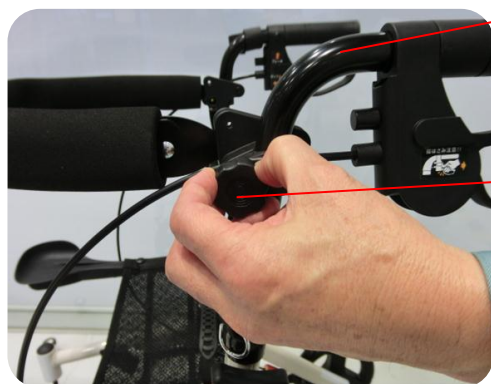


③新しいバッグの側面にあるスライド部をバッグ固定部のガイドに差し込みます。

交換部品: 9. バッグセット

2) 姿勢保持ベルトの交換方法

①姿勢保持ベルト基部固定ノブボルトを緩めて抜き、姿勢保持ベルト固定用フックを取りはずします。



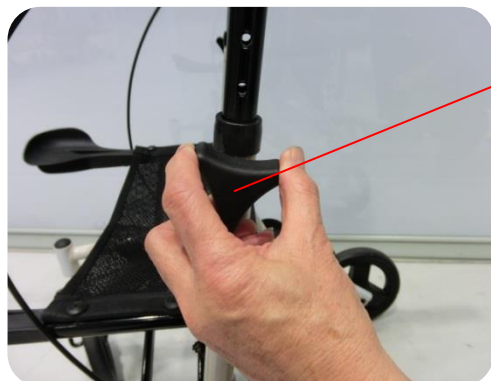
ハンドルポスト

姿勢保持ベルト
基部固定ノブボルト

姿勢保持ベルト
固定用フック



②高さ調節ノブボルトを緩めて抜きます。



高さ調節ノブボルト



ハンドルポストが不意に下がらないよう、ハンドルポストを手で押さえてください。

1. 各部の交換方法

2) 姿勢保持ベルトの交換方法(つづき)

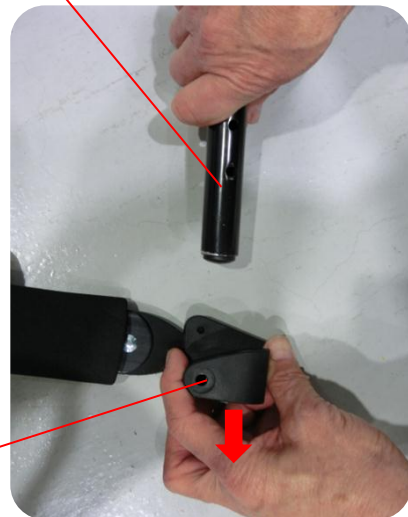
③ フレームからハンドルポストを引き抜きます。



ハンドルポスト

フレーム

④ ハンドルポストから姿勢保持ベルト基部を引き抜きます。



姿勢保持ベルト基部

⑤ 姿勢保持ベルト固定ボルトを緩めて抜き、姿勢保持ベルトを姿勢保持ベルト基部から取り外します。

六角レンチ
4mm × 2本

姿勢保持ベルト
固定ボルト

姿勢保持ベルト基部



姿勢保持ベルト基部

姿勢保持ベルト



⑥ 姿勢保持ベルトを姿勢保持ベルトカバーから引き抜きます。

姿勢保持ベルトカバー

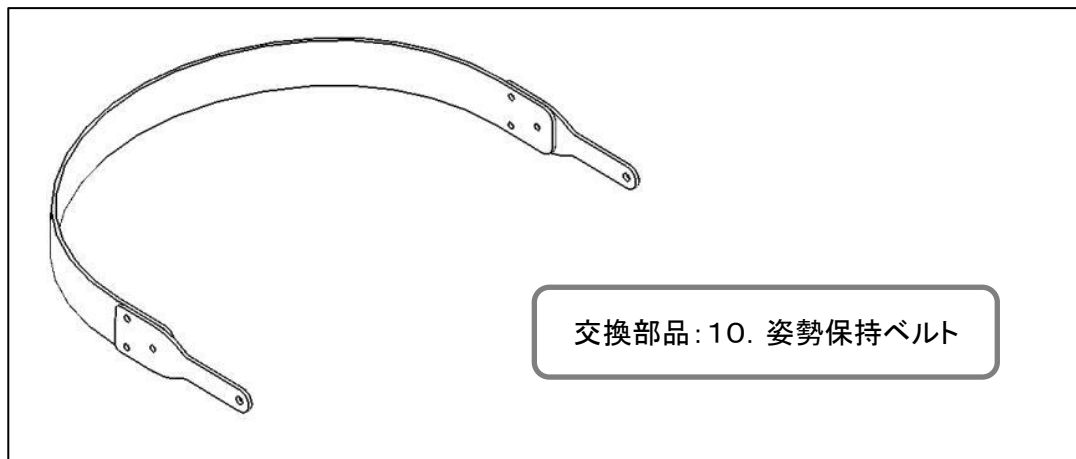
姿勢保持ベルト



1. 各部の交換方法

2) 姿勢保持ベルトの交換方法(つづき)

⑦新しい姿勢保持ベルトを新しい姿勢保持ベルトカバーに差しこみます。(⑥の逆手順)

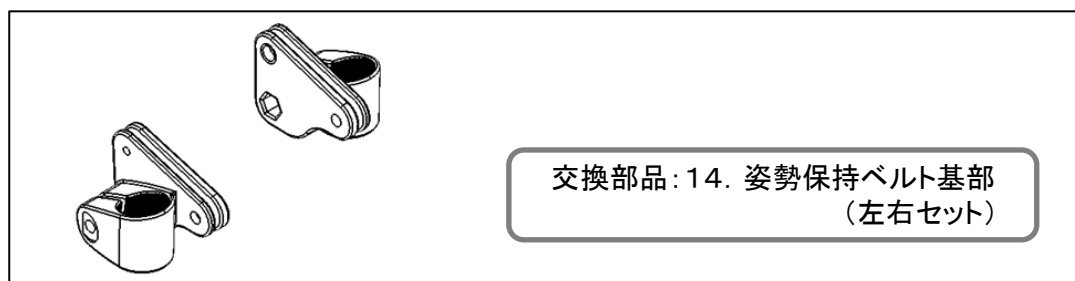
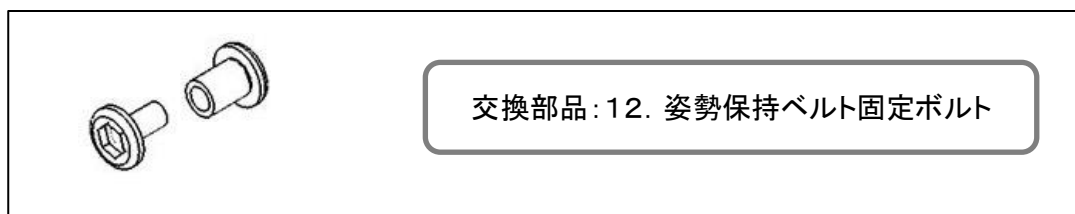
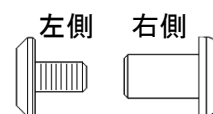


⑧新しい姿勢保持ベルト固定ボルトで、新しい姿勢保持ベルト基部に、姿勢保持ベルトを固定します。(⑤の逆手順)

六角レンチ
4mm × 2本

 姿勢保持ベルト固定ボルトの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。

 姿勢保持ベルト固定ボルトは後方から見た時に雄ネジが左側です。(右図参照)

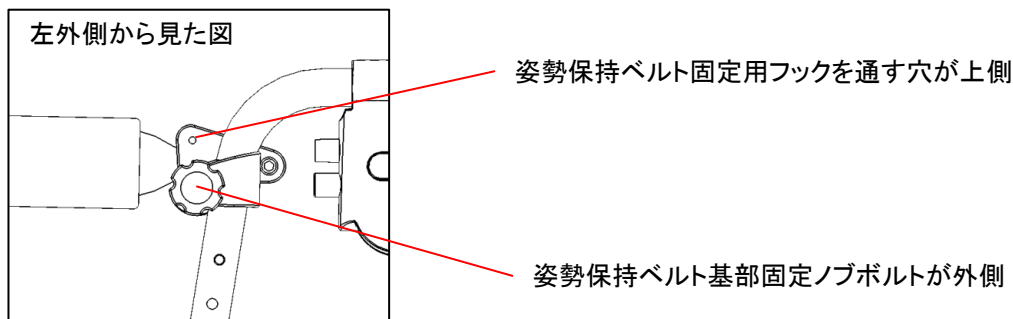


1. 各部の交換方法

2) 姿勢保持ベルトの交換方法(つづき)

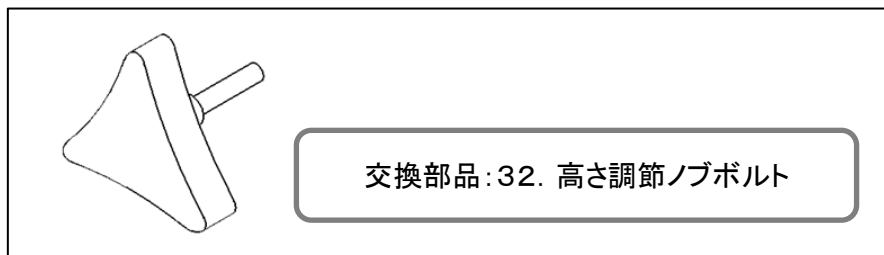
⑨ハンドルポストに姿勢保持ベルト基部を差しこみます。(④の逆手順)

 姿勢保持ベルト基部の向きに注意してください。(下図参照)



⑩ハンドルポストをフレームに差しこみます。(③の逆手順)

⑪新しい高さ調節ノブボルトでハンドルポストを固定します。(②の逆手順)



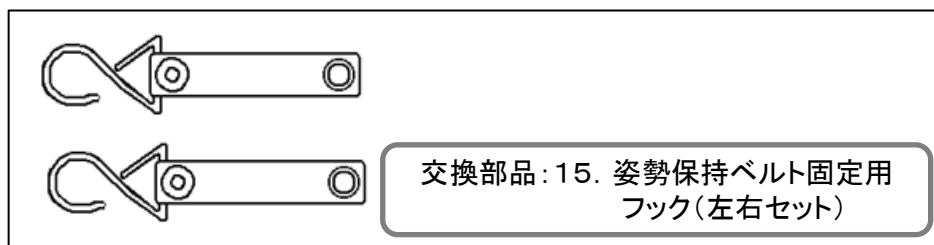
⑫新しい姿勢保持ベルト基部固定ノブボルトに、新しい姿勢保持ベルト固定用フックを取りつけ、姿勢保持ベルト基部固定ノブボルトを姿勢保持ベルト基部に差しこみ締めつけます。(①の逆手順)

 姿勢保持ベルト基部の先端に隙間がなくなるようしっかりと締まっていることを確認してください。(右図参照)



交換後は、

■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。



1. 各部の交換方法

3) 座部の交換方法

● 座面の交換方法

① クロスバーにある折りたたみベルトを固定しているボルト(左右計2ヶ所)をはずします。

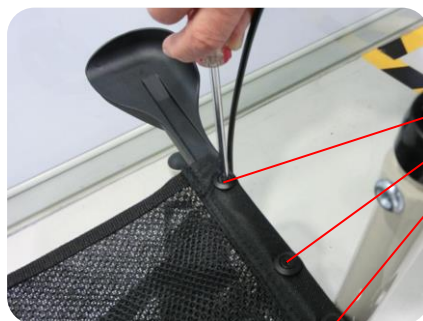
六角レンチ 4mm
六角レンチ 5mm
スパナ 10mm



② 座面から折りたたみベルトを引き抜きます

③ 座面固定ボルト(6ヶ所)を緩めて抜き、シートパイプから座面を取りはずします。

プラスドライバー
2番

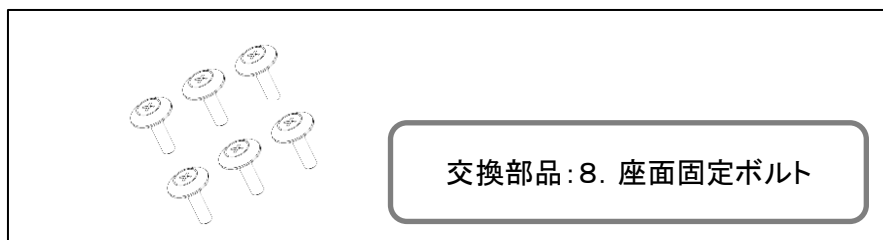
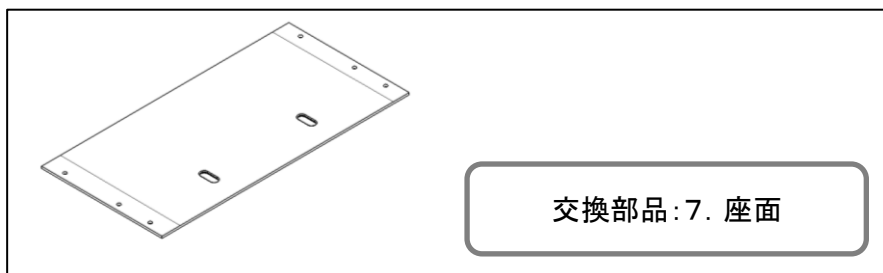


座面固定ボルト

※左側の同じ位置にも
3ヶ所あります。

④ 新しい座面を新しい座面固定ボルトでシートパイプに固定します。(③の逆手順)

プラスドライバー
2番



⑤ 座面に新しい折りたたみベルトを通します。(②の逆手順)



交換部品: 16. 折りたたみベルト

1. 各部の交換方法

3)座部の交換方法(つづき)

⑥折りたたみベルトを①ではずしたボルトでクロスバーに固定します。(①の逆手順)

六角レンチ 4mm
六角レンチ 5mm
スパナ 10mm

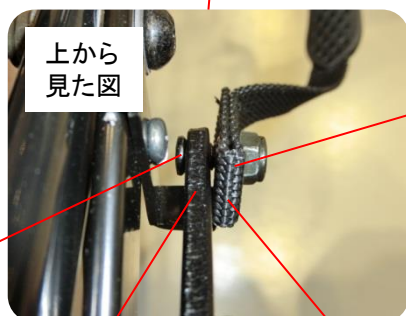
 ボルトを締める時は、締めつけ過ぎて折りたたみ動作に支障がでないよう
また締め付けが甘くボルトが外れたりしないよう 注意してください。

 ボルトを再度取り付ける時は、ワッシャーの位置に注意してください。
(下写真参照)

左側



右側



ボルト

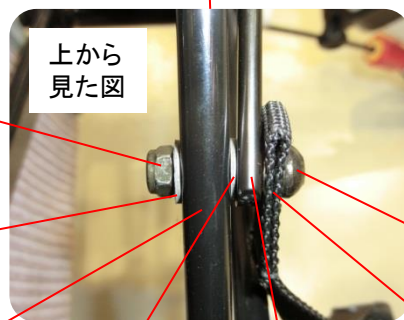
上から
見た図

ナット

ワッシャー

折りたたみ防止フック

折りたたみベルト



上から
見た図

ボルト

クロスバー

ワッシャー

リンク
プレート

折りたたみベルト

交換後は、

- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。
- 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。

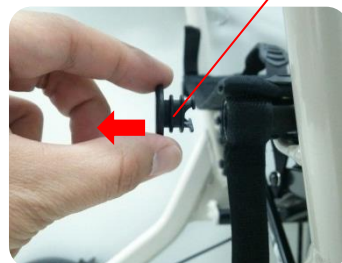
●折りたたみ保持ベルトの交換方法

①シートパイプエンドキャップ(後)を取りはずします。

マイナスドライバー

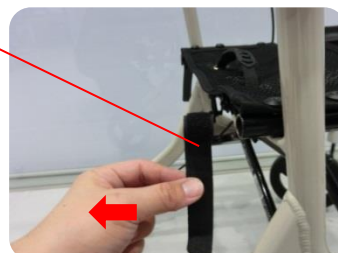


シートパイプエンドキャップ(後)



②折りたたみ保持ベルトをシートパイプから引き抜きます。

折りたたみ保持ベルト

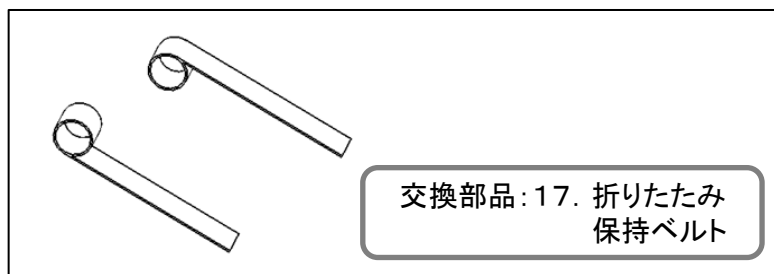
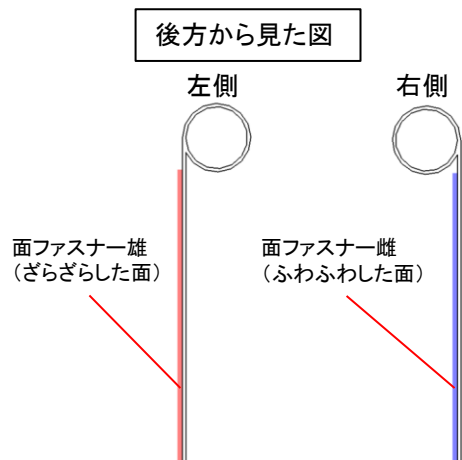


1. 各部の交換方法

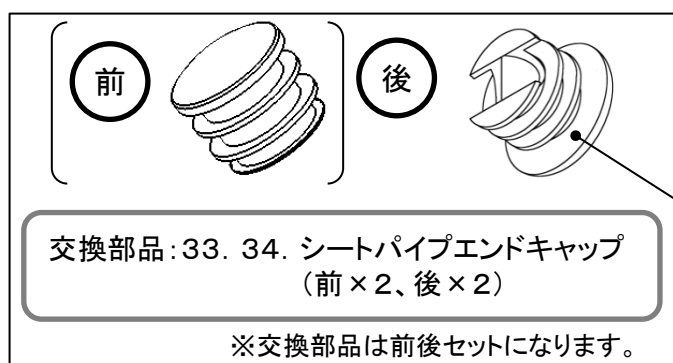
3) 座部の交換方法(つづき)

③新しい折りたたみ保持ベルトをシートパイプに差しこみます。(②の逆手順)

 面ファスナーの向きに注意してください。(下図参照)



④新しいシートパイプエンドキャップ(後)をシートパイプにはめ込みます。(①の逆手順)



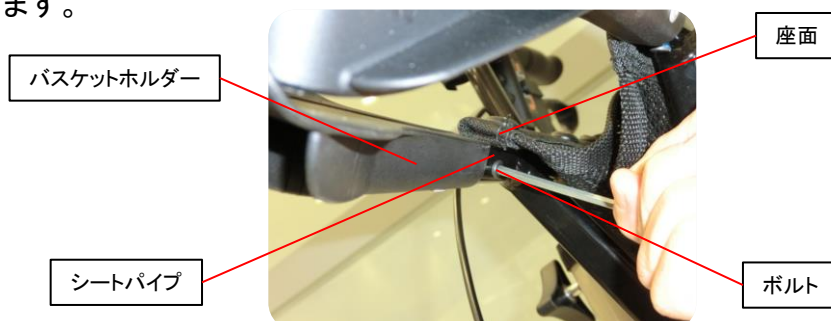
※この部分の径がシートパイプに差しこむ部分よりも4mm程度大きいものが後のキャップです。

4) バスケットホルダーの交換方法

①折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を折りたたみます。



②シートパイプにバスケットホルダーを固定しているボルト(座面の裏側にあります)を緩めてはずします。



1. 各部の交換方法

4) バケットホルダーの交換方法(つづき)

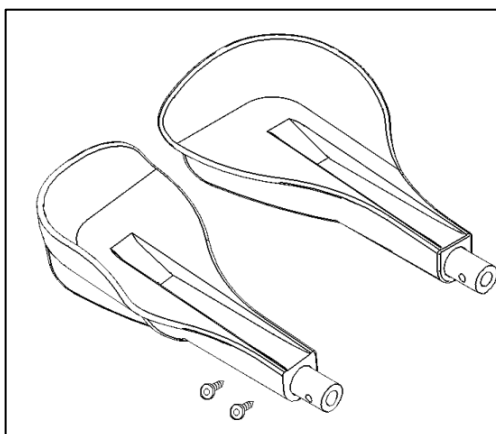
③シートパイプからバスケットホルダーを引き抜きます。

シートパイプ

バスケットホルダー



④新しいバスケットホルダーをシートパイプに差しこみます。(③の逆手順)



交換部品: 35. バスケットホルダー
(左右セット)

⑤新しいバスケットホルダーを、同梱のボルトを使用してシートパイプに固定します。

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

※全ての部品を交換する手順を記載してあります。交換部品ごとの作業は下表を参照してください。

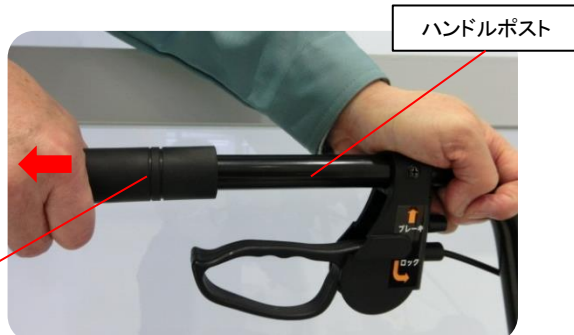
交換部品	必要な手順	備考
A. ブレーキワイヤーのみ (ブレーキワイヤーチューブとブレーキワイヤー端部キャップは併せて交換となります。)	②～③, ⑨～⑪, ⑮～⑳	各手順の括弧書きの(新しい)は無視して、取り外した部品をそのまま使用してください。
B. A+ブレーキ調節ネジ	Aの手順に加えて④～⑤	
C. A+ブレーキ板	Aの手順に加えて⑥～⑧	
D. A+ブレーキ基部	Aの手順に加えて①, ⑫～⑭	
E. A+その他の部品	Aと同様	交換したい部品を括弧書きの(新しい)に従って交換してください。
F. ハンドルグリップのみ	①, ⑭	

1. 各部の交換方法

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき)

- ① ハンドルグリップをハンドルポストから引き抜きます。＜ハンドルグリップ・ブレーキ基部を交換する場合のみ＞

 ハンドルグリップが抜けにくい時は、ドライヤーなどで数分温めると抜けやすくなります。



- ② ブレーキワイヤー端部キャップをはずし、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩め、取りはずします。

ラジオペンチ
六角レンチ 4mm

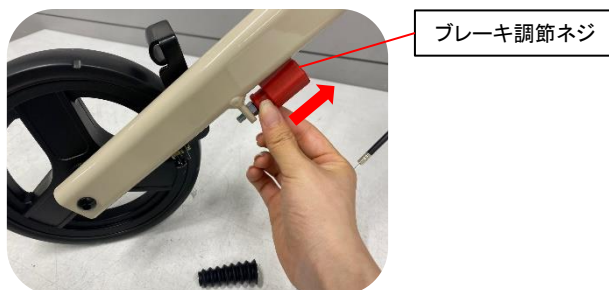
ブレーキワイヤー
端部キャップ



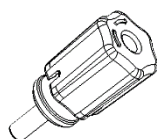
- ③ ブレーキワイヤーを引き抜き、ブレーキバネ、ブレーキバネカバーを取りはずします。



- ④ ブレーキ調節ネジを回してフレームから取りはずします。＜ブレーキ調節ネジを交換する場合のみ＞



- ⑤ 新しいブレーキ調節ネジをフレームに取りつけます。＜ブレーキ調節ネジを交換する場合のみ＞



交換部品: 28. ブレーキ調節ネジ

1. 各部の交換方法

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき).....

⑥ブレーキ板固定ナットを緩め、ブレーキ板固定ボルトをはずし、ブレーキ板を本体から取りはずします。＜ブレーキ板を交換する場合のみ＞

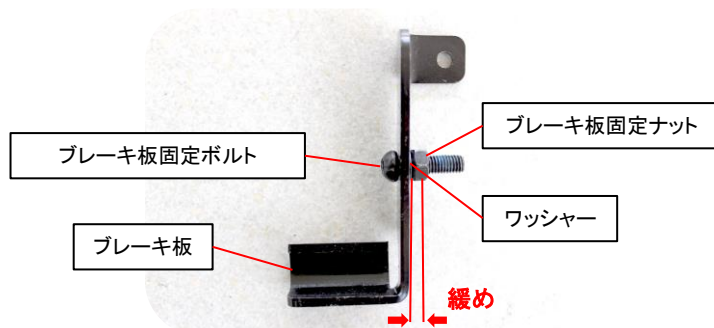
スパナ 10mm
六角レンチ 4mm

ブレーキ板固定
ナット

ブレーキ板固定ボルト

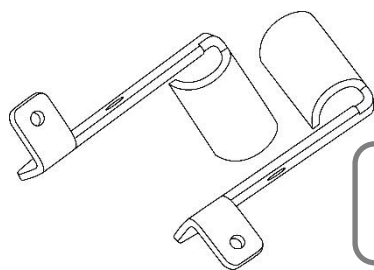


⑦新しいブレーキ板に新しいブレーキ板固定ボルトを新しいブレーキ板固定ナットにて緩めに取り付けます。＜ブレーキ板を交換する場合のみ＞



⑧ブレーキ板固定ボルトで本体にブレーキ板を固定します。(締めつけて回らなくなったら⑦で緩めに取り付けしたブレーキ板固定ナットを締めつけ、ブレーキ板が回転可能な範囲でガタつきをできるだけ小さくし、再度ブレーキ板固定ボルトを締めつけます。(⑥の逆手順)＜ブレーキ板を交換する場合のみ＞

スパナ 10mm
六角レンチ 4mm



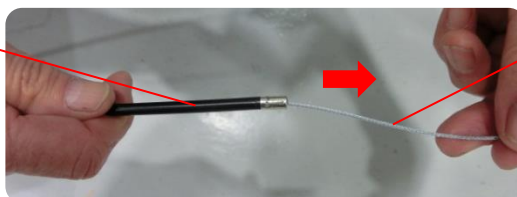
交換部品: 26.
ブレーキ板
(左右セット)



交換部品: 27. ブレーキ板固定ボルトセット
(ボルト・ナット・ワッシャー)

⑨ブレーキワイヤーをブレーキワイヤーチューブから引き抜きます。

ブレーキワイヤーチューブ



ブレーキワイヤー

1. 各部の交換方法

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき).....

- ⑩ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。



- ⑪ブレーキ基部キャップをブレーキ基部からはずし、ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。



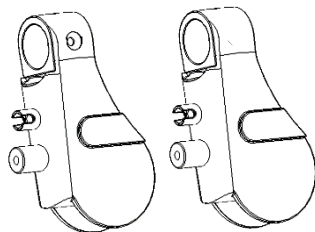
- ⑫ブレーキ基部のネジをはずし、ブレーキ基部をハンドルポストから引き抜きます。
＜ブレーキ基部を交換する場合のみ＞

プラスドライバー
2番



- ⑬新しいブレーキ基部をハンドルポストに差しこみ、⑫ではずしたネジでハンドルポストに固定します。(⑫の逆手順) ＜ブレーキ基部を交換する場合のみ＞

プラスドライバー
2番

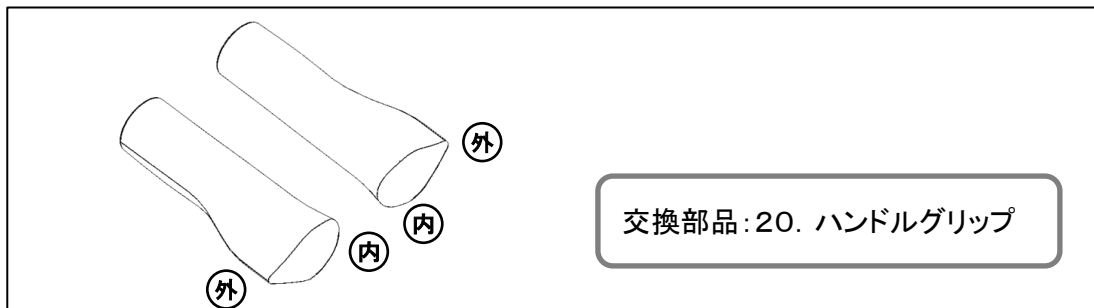


交換部品: 22. ブレーキ基部
(左右セット)

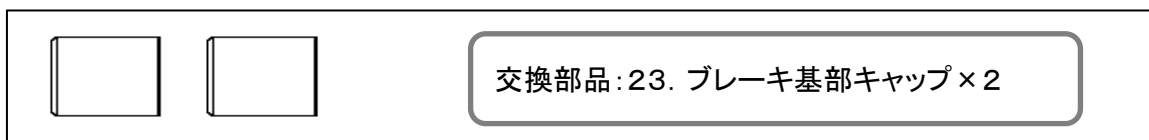
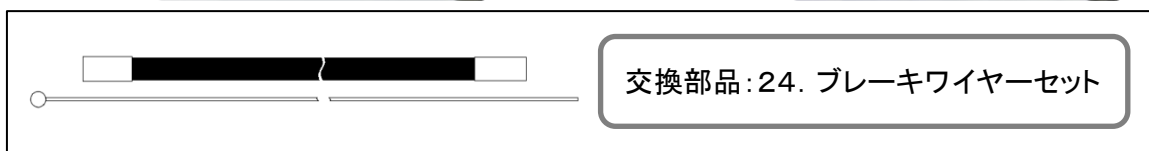
1. 各部の交換方法

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき).....

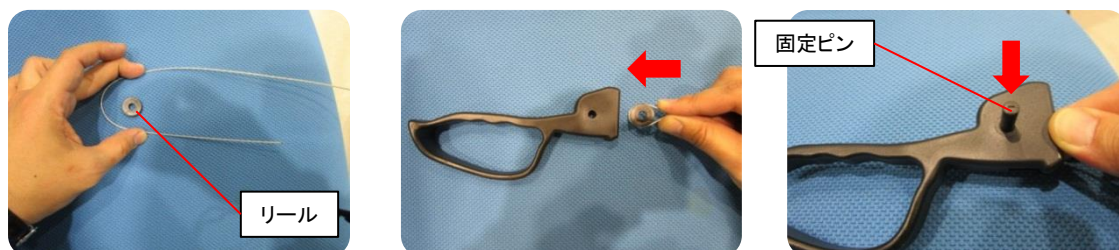
- ⑭(新しい)ハンドルグリップをハンドルポストに取り付けます。(①の逆手順)
＜ハンドルグリップ・ブレーキ基部を交換する場合のみ＞



- ⑮新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(上側)に通し、交換部品または取り外したブレーキ基部キャップをブレーキ基部に取り付けます。(⑪の逆手順)



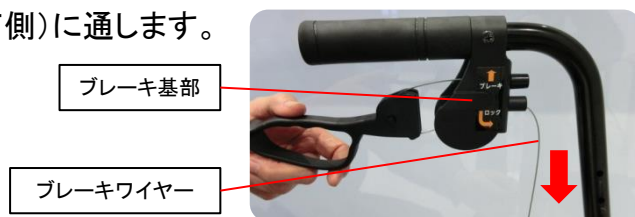
- ⑯(新しい)ブレーキレバーから固定ピンを抜いてリールをはずし、ブレーキワイヤーをリールに沿わせ、リールをブレーキレバーに差しこんで、固定ピンでブレーキレバーに固定します。



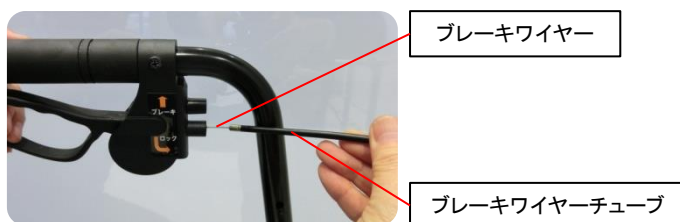
1. 各部の交換方法

5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき).....

⑰ブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(下側)に通します。



⑱ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーチューブに通します。

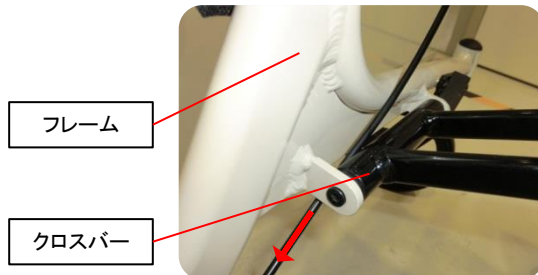


⑲ブレーキワイヤーチューブをフレームに通します。

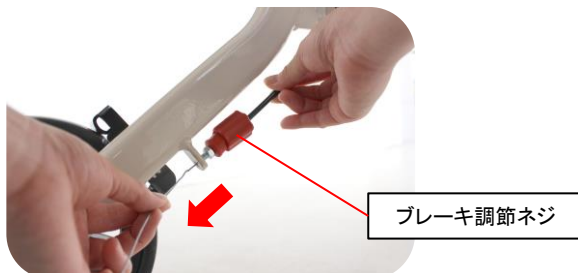
ハンドルポストの外側



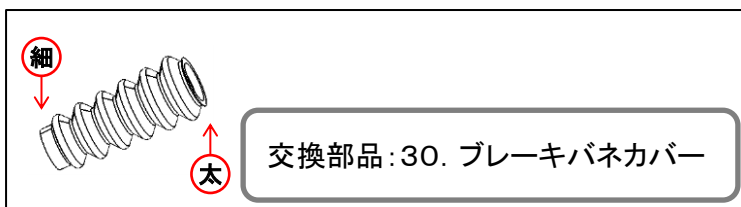
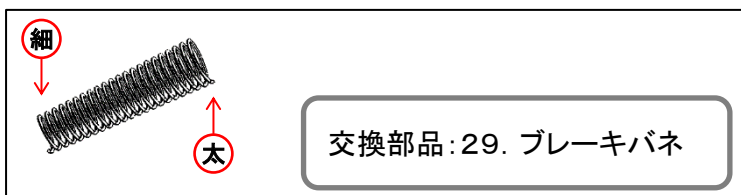
クロスバー下部とフレームの間



⑳ブレーキワイヤーをブレーキ調節ネジに通します。



㉑(新しい)ブレーキバネにブレーキワイヤーを通し、(新しい)ブレーキバネカバーを取りつけます。



1. 各部の交換方法

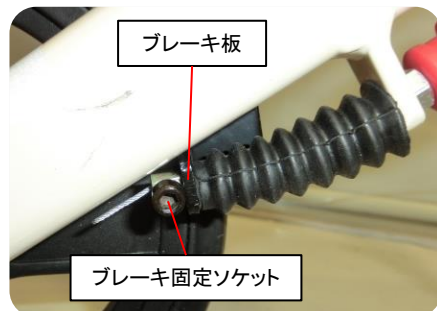
5) ハンドル部・ブレーキ部の交換方法(つづき).....

②ブレーキワイヤーをブレーキ板に通し、ブレーキワイヤーを(新しい)ブレーキ固定ソケットに通し、ブレーキ固定ソケットを締めつけて固定します。

六角レンチ 4mm
ラジオペンチ

ブレーキ固定ソケット

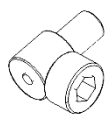
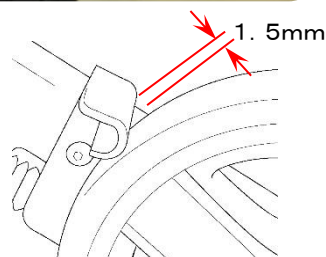
ブレーキワイヤー



☞ ブレーキ固定ソケットの細い側からワイヤーを通します。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmになるようにブレーキ固定ソケットを締めつけてください。

☞ ブレーキ固定ソケットの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。



交換部品: 31. ブレーキ固定ソケットセット

③新しいブレーキワイヤー端部キャップをブレーキワイヤーに取り付け、外れないようにカシメます。

ラジオペンチ

ブレーキワイヤー
端部キャップ



交換部品: 25. ブレーキワイヤー
端部キャップ × 10

交換後は、

- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

1. 各部の交換方法

6) 後輪の交換方法

① 車輪キャップをはずします。

マイナスドライバー



車輪キャップ

② 後輪ナットを緩め、後輪を取り外して新しい後輪と交換し、新しい車輪キャップを取り付けます。

ソケットレンチ 13mm
六角レンチ 5mm



ベアリング間スペーサーがホイール内でずれて取り付けできない場合は、マイナスドライバーなどの工具を使ってベアリング間スペーサーの位置を調節してください。



ホイール

ベアリング

ベアリング間スペーサーがずれている状態

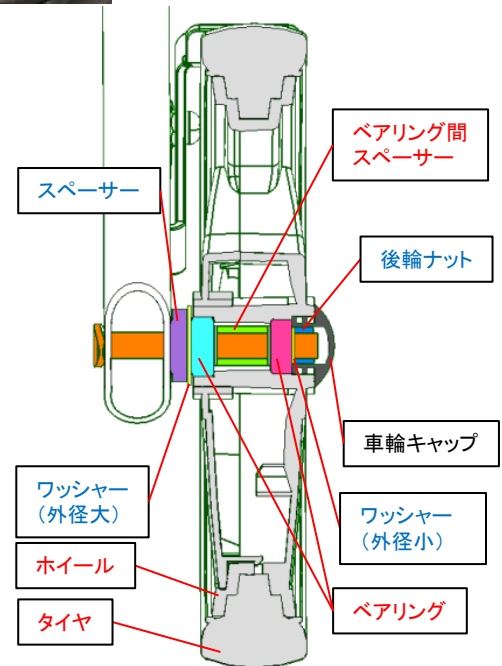
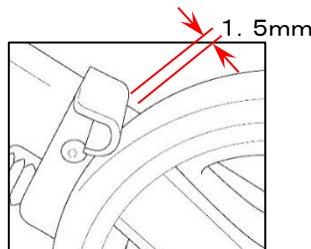
後輪を取り付ける時は後輪の向きに注意してください。
スリップサイン(タイヤ円周上の小さなくぼみ)が内側です。

後輪を取り付ける時は右図の順番に注意してください。
交換部品のベアリングおよびベアリング間スペーサーはホイールに組み付けられた状態でお届けとなります。

後輪を取り付ける時は、後輪セットに付属される新しい後輪ナットを必ずご利用ください。

後輪ナットの締め付けトルクは
7N・m(70kgf・cm)です。

後輪交換後にブレーキ板と
タイヤの隙間が1.5mmに
なるようブレーキ調節ネジで
調節してください。
1.5mmの目安=10円玉の厚み



交換後は、

- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。



交換部品: 5. 後輪セット

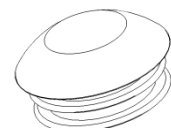
○ 一体組付状態

ホイール・タイヤ
ベアリング × 2・
ベアリング間スペーサー

○ 同梱

ワッシャー(外径大&小)
スペーサー
後輪固定ナット

交換部品: 6. 車輪キャップ



1. 各部の交換方法

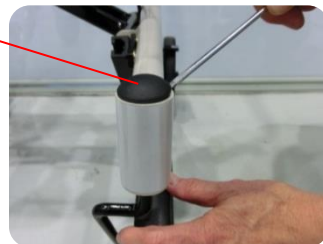
7) 前輪の交換方法

●前輪の交換方法

①前輪フォークキャップをはずします。

マイナスドライバー

前輪フォークキャップ



②前輪フォーク固定ナットを緩めて前輪フォークから取りはずし、
前輪フォークをフレームから引き抜きます。

ソケットレンチ17mm

※共回りしないよう、前輪を
手で押さえてください。



フレーム

前輪フォーク



③新しい前輪セットをフレームに差しこみ、前輪フォーク固定ナットを締めてフレームに固定し、
新しい前輪フォークキャップをはめこみます。(①, ②の逆手順)

👉 前輪フォークを取り付ける時は、前輪セットに付属される新しい前輪フォーク固定ナットを
必ずご利用ください。

👉 前輪フォークベアリングを交換する時は、前輪フォークベアリングセットに付属される
新しい前輪フォーク固定ナットを必ずご利用ください。

👉 前輪フォークとベアリングに隙間がなくなるまで十分に締めこんでいただき、
その後フォークがスムーズに回転するように調整してください。
目安の締め付けトルクは1~2N・mです。

●正しい状態

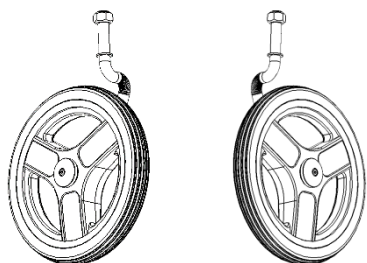
前輪フォークとベアリングの間に隙間が無い状態。



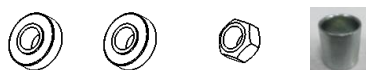
1. 各部の交換方法

7) 前輪の交換方法

交換後は、 ■車体を押しした時に、違和感なく直進することを確認してください。
■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。



交換部品: 1. 前輪セット(右)
交換部品: 2. 前輪セット(左)
(ホイール・タイヤ・前輪フォーク・前輪ナット・
車輪キャップ・前輪フォーク固定ナット)

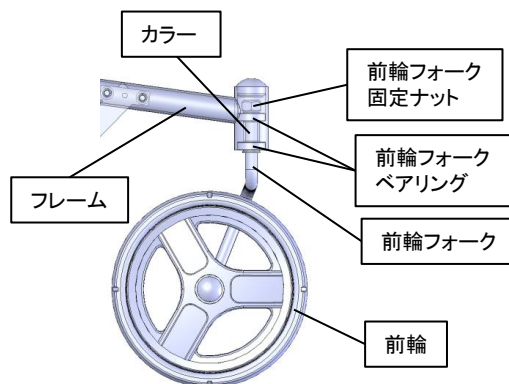
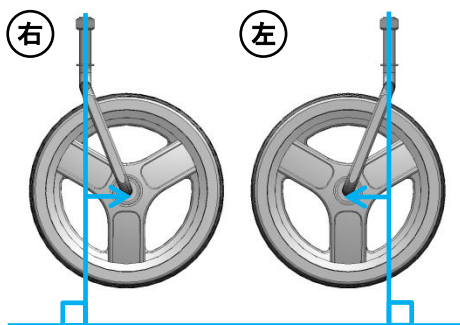


交換部品: 3. 前輪フォーク
ベアリングセット
(ベアリング×2・カラー・前輪フォーク固定ナット)



交換部品: 3. 前輪フォークキャップ

前輪左右の見分け方



1. 各部の交換方法

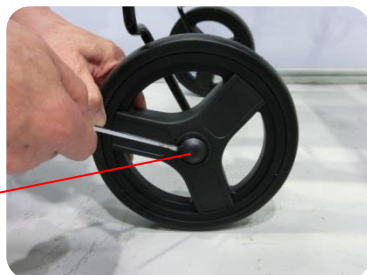
7) 前輪の交換方法(つづき)

●車輪キャップの交換

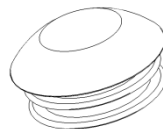
①車輪キャップをはずし、新しい車輪キャップと交換します。

マイナスドライバー

車輪キャップ



車輪キャップ



交換部品: 6. 車輪キャップ

8) 杖ホルダーの交換方法

①杖ホルダー固定ノブボルトを緩めて引き抜き、本体から杖ホルダーを取りはずして新しい杖ホルダーと交換します。

杖ホルダー
固定ノブボルト

杖ホルダー



※左右を入れ替える場合、杖ホルダー固定部内側のボルトを緩め、杖ホルダーを回転させて角度を合わせて取り付けます。

六角レンチ 4mm

交換部品: 18. 杖ホルダーセット



交換後は、**■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。**

9) 杖固定ベルトの交換方法

①杖固定ベルトをハンドルポストから取りはずし、新しいものと交換します。

杖固定ベルト



交換部品: 19. 杖固定ベルト

2. フレームの補修方法

- 1) 塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。
- 2) 塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。
- 3) タッチペンまたはスプレーで塗装します。

 塗料の一部が沈殿していることがあります。その場合はタッチペンの容器を振って塗料をよく混ぜ合わせてからご使用ください。

 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

 火気には十分に注意してください。

補修部品： 41. 補修用スプレー
42. 補修用ペイント(タッチペン)

3. 交換後の点検

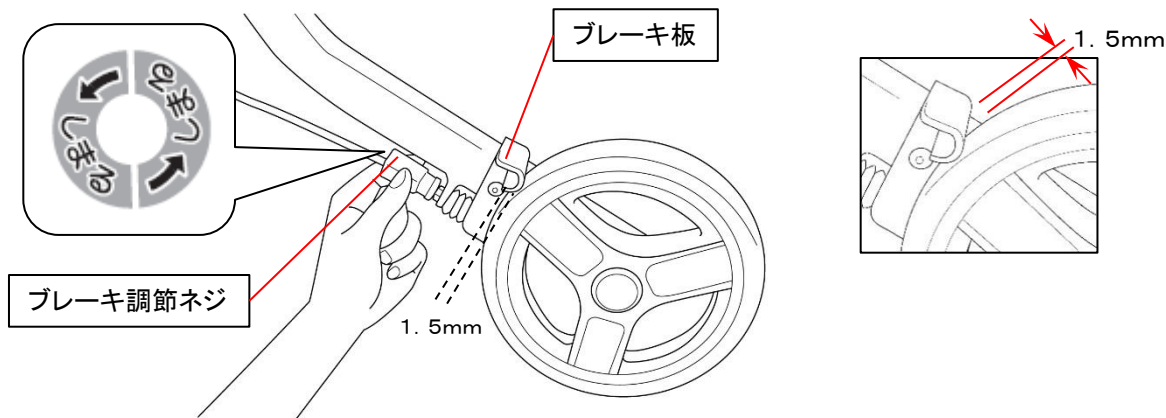
- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

 点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

4. ブレーキの調整方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

1. ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。



2. ブレーキ板とタイヤの隙間が1. 5mmになるように調節してください。隙間が小さくなりすぎた場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。

5. シールの貼付位置

38) ブレーキ指はさみ注意シール
※右側の同じ位置にもあります。



37) ブレーキ・駐車ロックシール
※左側の同じ位置にもあります。

36) (LT・ST) フレーム前方保護シール
※右側の同じ位置にもあります。



40) 指はさみ注意シール



39) ブレーキ調節表示シール
※左側の同じ位置にもあります。

交換部品: 36
(LT・ST) フレーム前方
保護シール

交換部品: 37
ブレーキ・駐車ロック
シール

交換部品: 38
ブレーキ指はさみ注意
シール

交換部品: 39
ブレーキ調節表示
シール

交換部品: 40
指はさみ注意シール



注意事項

保管について

- 戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
- 火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- 取扱説明書は本体と一緒に保管すること

お手入れについて

- 車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
- 次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー ・クレゾール ・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
 - ・磨き粉 ・塩素系洗剤 ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ ・その他製品を傷つけるもの
- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。
- 注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意すること。
タイヤやブレーキ板に付着した油はよく拭き取ってください。

廃棄について

- 廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索